

あまんきみこ氏講演会『子どもと本を結ぶあなたへ』

平成25年10月30日(水曜日)に大分大学高等教育開発センター及び大分大学学術情報拠点(大学図書館)の主催、NPO 法人大分県「協育」アドバイザーネットの共催で

あまんきみこ氏講演会『子どもと本を結ぶあなたへ』
童話作家の想い～一冊の本ができるまで～を開催しました。

聞き手：鬼が島文庫主宰 千竈 八重子氏 (紙芝居文化の会おおいた 代表)

参加者80名の予定で募集しましたが、「あまんきみこ先生にお会いしたい」「お話を伺いたい」という多くの方々の強い思いによって、急遽、150名の参加者を受け入れました。それでも予定よりかなり早い時点で締め切らせていただきました。お断りさせていただいた方々には大変申し訳なく思っています。

大分市は初めてという「あまんきみこ」氏は、もの静かで少女のような笑顔の素敵な女性でした。ゆっくりと丁寧に、そしてひとつひとつの言葉を大切にしながら語りかけてくださるお話は、私たちの心に静かにしみこんでいきました。いくつかの作品について、その作品ができるまでの過程やご自分の思いなど、貴重なお話もしてくださいました。あまん先生のふんわりとした雰囲気と優しさに溢れた作品の奥にある強い想いを感じました。また、「ご本人による読み聞かせ」というサプライズもあり、参加された全員が感激されたことと思います。今回参加された方々は、作品のファンとしてだけでなく、あまんきみこファンになられたのではないかと思います。

参加者のアンケートでは「お話を読んであげるのではなく、本の情緒や間隔を感じながら読んでいきたい」「あまんきみこ先生の暖かいお人柄が作品を作っていることを確信」など、多くの感動をいただいたという感想をいただいています。また、「千竈さんのコーディネートが良くて、対談そのものがとてもわかりやすかった」「最後の読み聞かせの実演は、本当に感動でした」「大学生の関わりが素晴らしかった」など、スタッフの運営・計画への感想もいただいています。





講演会終了後の参加者の交流会では、読み聞かせグループ「ゆい（結い）」のメンバーでもある大分大学生も班のファシリテーターとして活躍し、8班に分かれたグループ討議は大変盛り上がりました。選書の悩み、学校の先生との関係、読み聞かせの手法は？などの悩みを出し合いながら話を進めていきました。日頃の多くの想いが一気に噴出されたような活気が会場全体に満ちていて、読み聞かせのボランティアの皆さん方が悩みを抱えながらも喜びを持って日々活動されているということがひしひしと伝わってきました。



この会は、1時間という短いものでしたが、参加者同士がお互いに高め合うことができ、これからの活動のスキルアップにつながる内容の濃いものになったのではないのでしょうか。

「もっと時間が欲しかった」「こんな会を定期的にして欲しい」「楽しかったし、アドバイスもたくさんいただいた」など多くの感想をいただきました。

読み聞かせの素晴らしさを改めて確認した一日でした。

当日の参加者の内、90名の方からアンケートでのご感想等をいただきました。アンケートでは

- ① 今後、こうした講演会や交流会に参加したいので情報が欲しい
- ② 日常の活動の悩みや選書等を気軽に相談し合えるネットワークに参加したい
- ③ 一緒に研修したり、活動したりする機会へ参加して、楽しく学ぶ仲間づくりをしたい

の3項目についてのご意見もいただきました。その結果は下記の通りです。

連絡先等を記入していただいた52名の方とは、今後、読み聞かせの研修会や「読み聞かせの依頼」情報などを知らせ合えるネットワークづくりを工夫したいと考えています。ご協力よろしく願います。

①講演会や交流会の情報	②ネットワークに参加	③楽しく学ぶ仲間づくり
52名	18名	19名